

二五三四番

相思あひおもはぬ 人の故ひとゆゑにか あらたまの 年としの緒長をなが
く 我あが恋こひ居をらむ

二五三五番

おほろかの わざとは思おもはじ 我わが故ゆゑに 人ひとに
言痛こぢたく 言いはれしものを

二五三六番

息いきの緒をに 妹いもをし思おもへば 年とし月の 行ゆくらむわき
も 思おもほえぬかも

二五三七番

たらちねの 母ははに知しらえず 我あが持もてる 心こころは
よしゑ 君きみがまにまに